

☆海外渡航☆

◇第4部 中島利誠助手(特別研究員)はアメリカ, アリゾナ大学において, 高分子化学の研究に従事するため, 8月20日に出発し2年間滞在して1968年8月19日に帰国の予定.
 ◇第2部 川井忠彦助教授はアメリカ, ニューヨーク州立大学バッファロー分校において, マトリックス構造解析法および薄膜構造の研究, またヨーロッパ各国において応用力学研究上の諸問題について調査研究のため, 8月20日に出発し, アメリカ, イギリス, イタリア, スイス, 西ドイツ, オーストリア, オランダ, デンマーク, ノルウェー, スウェーデン, フィンランド, ソ連を回って1967年8月31日帰国の予定.
 ◇第5部 坪井善勝教授, 川股重也助教授はソ連, レニングラード市で開催される, シェル構造に関する国際シンポジウム, およびロンドンで開催される立体構造に関する国際会議に出席, またソ連, イギリスにおいて同会議に関連する建築構造学研究上の諸問題について調査研究のために, 川股助教授は8月28日に, また坪井教授は8月31日出発, 10月2日帰国の予定,
 ◇第2部 佐藤壽芳助教授はアメリカ, マサチューセッツ工科大学において切削工学および工作機械の振動に関する研究に従事, またヨーロッパ各国において切削工学研究上の諸問題について調査研究のため, 9月1日出発, 1967年9月2日帰国の予定.

☆講演☆

◇教授 尾上守夫, 技官 十文字弘道, 研究補助員 小堀直正 [High Frequency Crystal Filters Employing Multiple Mode Resonators Vibrating in Trapped Energy Modes] 20th Frequency Control Symposium, Atlantic City, N. J., U. S. A. において (1966. 4. 20).
 ◇教授 尾上守夫, 技官 十文字弘道 [Useful Formulas for Piezoelectric Ceramic Resonators and Their Application to Measurement of Parameters.] the 71st Meeting of Acoustical Society of America, Boston, Mass., U. S. A. において (1966. 6. 2)
 ◇教授 尾上守夫 [Multiple Mode Piezoelectric Resonators] 同上 (同上)
 ◇教授 浅原照三 [ラジカル重合] 日本化学会関東支部講演会, 宇都宮大学において (1966. 6. 23)
 ◇助手(特別研究員) 妹尾 学 [高分子におけるイオンの過程] 工技連講座 (1966. 6. 29)
 ◇助教授 本間禎一 [化学反応と表面微細構造] 金属表面アカデミック研究会第10回討論会, 土木学会講堂において (1966. 7. 15)
 ◇教授 雀部高雄 [将来の製鉄法について] 日本鉄鋼協会第3回技術講座講演, 大和証券ホールにおいて (1966. 5. 30)

表 紙 円筒型磁性薄膜素子を布状に織り上げたものを
 基盤上に固定したメモリブレンの拡大写真 (本文 7~17 ページ参照)

研究解説

市販フィルムによるホログラフィ.....	山小 口 一 郎次... 1
磁性薄膜を用いた非破壊読出し高速記憶装置.....	渡荒 辺 勝... 7

研究速報

脂肪族ポリイミドの合成.....	浅福 原 照 三...18
エチレンとトルエンの反応.....	浅佐 原 照 三...21
シクロプロパン誘導体と求電子試薬の反応.....	浅小 原野 照 三...23
写真乳剤中のシアニン系増感色素のエネルギー単位の計算.....	菊谷 池 真 一...25